

◎4月5日(日)開催 第2893回例会

単独例会 青春18キップで行く

「湖北の小谷山(494m)へ」

唐櫃支部 A.K

浅井長政とお市の方の悲劇の舞台として有名な小谷城跡と春の息吹が一杯の小谷山に登りました。参加者は34名でしたが、久しぶりのJR利用となり乗車駅も垂水から三宮、大阪とバラバラで目的地のJR河毛駅に集合できるだろうかと心配しました。



標高 495m

しかし、さすが青春18キップ、先発は9時18分河毛着。旗振支部の皆さんは9時49分着。集合時間の10時には参加者30名が揃いました。河毛駅周辺は田園地帯でコンビニ、商店は全くなく駐車場が駅前にあるだけでした。朝からの雨は止む気配なく降りつづく中、会長のコース案内と諸注意を受け10時10分登山口目指して歩き始めました。



河毛駅からもうだいぶ登ったような

この雨の中でも他に10数名の登山グループがあり、同方向に向けて出発した。約30分、田んぼ沿いに登山口に向けて歩きましたが、雨中の登山は体力の消耗が大きいため登山コースを変更して下山コースを上りに使うことになり郡上の八幡神社から登り始めました。道は尾根つたいに登る感じになり急登であるもの手入れが良くされており75歳の青春男にも楽しく歩くことができました。途中2~3回小休止をしたものの、12時には小谷山頂『大嶽(おおぞく)跡』494mに到着。



一番の楽しみは昼食タイム

頂上は少し窪んでお盆のようになっていましたが周りは雑木がいっぱいで、展望は全くききませんでした。頂上は雨も止んで雨具なしで昼食を摂ることができグループ毎に食事が始まりましたが、女性の皆さんの手作り料理をごちそうになり、ありがとうございました。賑やかな昼食もあつと言う間に過ぎ、12時40分下山となりました。



出発準備整いました

急な木の階段が続いており、丸太に乗るな!踏むな!と激励を頂きながらの下山となりましたが悪いことばかりではありませんが、登山道を少し離れたところにはイワウチワの群生が斜面いっぱい花を咲かせていたのです。平地では桜が満開で山ではイワウチワの満開で全員が道から離れて山の中に入り、今しか見られないイワウチワを楽しむことが出来ました。



見事満開の「イワウチワの花」

少しタイムオーバーとなり本丸跡へのコースを変更して清水谷コースへショートカットすることにして下山しましたが、「クマ出没注意」の看板が見られ心配、しかし、おしゃべりな登山家にクマもクマツタだろうと出てきませんでした。14時には小谷城跡駐車場にゴールできました。

雨中の登山でしたが午後からは雨も止んで、コースはぬかるんだ道でしたが、まずまずのコースでした。河毛駅には14時45分頃到着。



タムシバの木の下で

15時21分播州赤穂行の新快速にりましたが、行先板が懐かしく感じられました。全員事故なく乗車し車内は他の乗客に迷惑にならないよう静かにし大阪で2名下車17時36分三宮に着いた。ここで旗振支部の皆さんと別れ、私の小谷山青春18キップの山行はジ、エンド、THE END。

天候 曇り

担当 例会自然保護委員会

参加者 参加者 34名